

Word time

vol.01

supported by LUXLESS

Word = 言葉を表現するアーティスト集団による実験的舞台。

第1回公演のテーマは [time]。言・鼓・音・場が織りなす非日常と日常の狭間の「時」をお楽しみください。

ARTISTS



[Jazz Band] numajazz Project

心理学者兼パートタイムベーシストの大沼卓也により2022年に結成。100年近く歌い継がれたオールドナンバーの現代的アレンジによる演奏を中心としながら、楽曲に歌われた人の心のありさまに思いを馳せる文学的ジャズバンド。メロウであたたかい歌声が魅力で、15年の音楽キャリアを持つヴォーカル・菅原花月と、自身のリーダー企画とサポート演奏で九州各所を忙しく飛び回るドラム・東貴宏ら若手ミュージシャンで構成される。

Bass 大沼卓也

山形県天童市出身。高校時代よりロックバンドでエレキベースを演奏し始める。大学入學後は東北大モダンジャズ研究会とビッグバンドサークル・New Forest Jazz Orchestraに所属し、ジャズベースの研鑽を積む。大学院修了後

は福岡に移り住み、大学で心理学の教鞭をとりながら各所でサポート演奏を行う。現在は、心理学とジャズを融合させたライブ企画“numajazz Project”を主宰し、音楽を通じて立ち現れる人間の美しさや優しさに光をあてるべく活動している。

Vocal 菅原 花月

長崎県出身。ミュージシャンであり、地元長崎でジャズクラブを経営していた父の影響を受け、幼少の頃から音楽に興味を持つ。8歳の時に、クラシックピアノを習う。学生時代から、地元長崎でシンガーとして音楽活動をスタート。18歳から福岡に移り住み、20歳の時にピアノバーでの演奏をきっかけにJAZZを歌い初める。定期的なジャズクラブでのLIVE、イベント等に出演し始め、本格的なプロの世界へ、自らのリーダーバンド、コーラスグループ、弾き語りなど、活動は多岐に渡る。

20代中盤からは、LIVE活動を行なう、ホテル、レストラン、バー、ナイトクラブなどのステージ、経験を積む。その間に、アメリカLA, NYに短期的に滞在し、現地のミュージシャンからのレッスン等で技術を磨く。2018年3月、英語、音楽、人生勉強のためカナダの最大都市トロントへ。そこで出会った、カナダのトップジャズミュージシャン達と2019年6月にレコーディングを行う。その際に募ったクラウドファンディングは4日で目標額を達成し、同年10月に1stアルバムをリリース。現在、福岡を中心に県内外での定期的なジャズライブ、コンサートを精力的に行っている。柔らかだが力のある個性的な声を武器に、スピード感ある曲から繊細なバラードまで、表現すること得意としている。

Drums 東 貴宏

大学時代、長崎大学swing boat jazz orchestraにギターバートとして在籍し、大学卒業後にドラムへ転向。長崎市を中心にライブ、セッションを重ね腕を磨き、数多くの実力派プレイヤーと共に演奏をする中、佐賀城下JAZZFESTIVALや、Street Art-plex Kumamotoなどのジャズフェスにも出演を果たす。2018年10月にはリーダーバンドを始動させ、地元長崎でのJAZZ演奏にも力を入れる。また、全国発売のアルバムにレコードティングメンバーとして参加するなど、CD制作にも関わっている。現在は福岡市を中心に様々なバンドで演奏しており、長崎、佐賀、大分など九州各地で活躍中。



[Art] ムラマスカツユキ

『言葉遊びを可視化する』スタイルのイラストレーター。作品を通して新たな角度から自分を見詰め、世界に“愛”を見付けるコンセプターとしての活動を行う。

Love is art. Struggle is beauty.



制作・技術

映像：モーションヒアーズ 梅田和矢

スチール：GERENTE PROJECT 中野裕輔

ヘアメイク：YASUDA ATELIER / GERENTE

PROJECT haruka

演出：GERENTE PROJECT daiki



[和太鼓] 池脇晋輔

和太鼓作曲・演出・講師としても日本全国で活動する和太鼓奏者。Jazz、ロック、オーケストラ等、多種多様な音楽とのコラボ演奏でも活躍。2023年1月1日NOAH日本武道館大会のグレート・ムタvs中邑真輔にてWWE中邑真輔選手入場曲生演奏。

2018年 モナコ国際映画祭 最優秀監督賞・キャスト賞 映画『黄金の大地』出演。2021年7-8月 博多華丸主演『羽世保スティングボーグ』出演・和太鼓監修、2022年12月 自主公演・博多座『福岡和の祭典』主催。

池脇佳那

着物モデル・講師・ステージ演出にとどまらず、帯結び舞と振袖太鼓を組み合わせた日本唯一のパフォーマンスを行う振袖表現師。

2005年 着物モデルオーディショングランプリ受賞。2014年 東京オリンピックフォーラム出演。2021年 博多華丸座長公演舞台『羽世保スティングボーグ』博多座・大阪新歌舞伎座公演出演。



[Dance] SHOKO

コミュニケーションが得意なラテンの文化と、礼節や作法を重んじる日本の文化の融合はとても大きな社会貢献の可能性を秘めていると実感し、2014年にダンススタジオ「Familia del Casino」を設立。

2019年キューバ国際音楽祭の閉会式にてゲストパフォーマンス出演。音楽祭の重要なパートである大トリを飾る。キューバのTV番組出演。

2022年11月、舞鶴公園・鴻臚館広場にてキューバ文化の体験イベントとして「第1回 風のルエダ祭り」を主催。多彩なパフォーマーによるステージイベントや、ワークショップ、フードや雑貨の店が出店。グランドフィナーレとして、キューバのコミュニケーション文化である「ルエダ」を1,000人で踊ることに挑戦し、好評を博した。



[Dance] GERENTE PROJECT

日風越海:日本/九州の文化、景観、歴史を様々なパフォーマンスを通して海外へ発信。2020年、福岡市文化エンタテインメント活動支援作品に選出。同年FUKUOKA STREET LIVE ライセンス取得。

2021年、福岡ペアダンスフェスティバルやファミリアフェスタなどに出演。コロナ禍におけるスタジオ撮影作品などを制作。続く行動抑制を「マスク×ペアダンス」で表現。

2022年3月 能古島国際映画祭に出演し、能古島アイランドパーク協力の下、「菜の花×ダンス」映像作品を作成。7月「ミセスオブザイヤー福岡2022」にてゲストパフォーマンス、同月「福岡城52万石 夏の陣」出演。9月 海童神社(佐賀県白石町)全面協力のもと映像作品「【Kaidou Shrin × JAPAN Bon Festival Dance】」を制作。11月第1回風のルエダ祭り@舞鶴公園「オープニングアクト」演出・出演。



[語り手] コガ☆アキ

福岡、佐賀のラジオ局で、ラジオパーソナリティーとして活動中。音楽とMLBとアニメが大好物。

KBCラジオ『PAO～NJ』(毎週月～金 13:00～16:00) 月曜担当
『DJワサダテス』(毎週日曜 20:00～20:30)

FM佐賀『CHANGE』木曜・金曜 (16:00～17:00)
ON AIR

鼓
音
踊
場